

製品名: CD130 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82277**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	103.5kDa

抗原情報

遺伝子名	CD130
別名	IL6ST; GP130; CDW130; IL-6RB
遺伝子 ID	3572.0
SwissProt ID	P40189
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD130 (AA: 余分な 73-231) の精製された組み換え断片。

背景

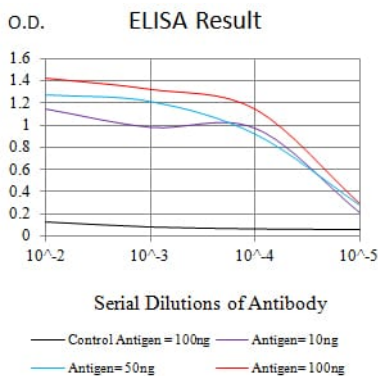
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 6 (IL6)、毛様体神経栄養因子 (CNTF)、白血病阻害因子 (LIF)、オンコスタチン M (OSM) など、多くのサイトカインに共通するシグナル伝達物質です。このタンパク質はサイトカイン受

容体複合体の一部として機能します。このタンパク質の活性化は、サイトカインがその受容体に結合することに依存します。IL6に関連し、カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスによってコードされるタンパク質 vIL6 は、インターロイキン 6 受容体 (IL6R) を迂回してこのタンパク質を直接活性化することができます。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子が心筋細胞のアポトーシス制御に重要な役割を果たすことが示唆されています。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています。関連する偽遺伝子が 17 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

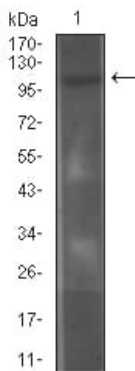
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

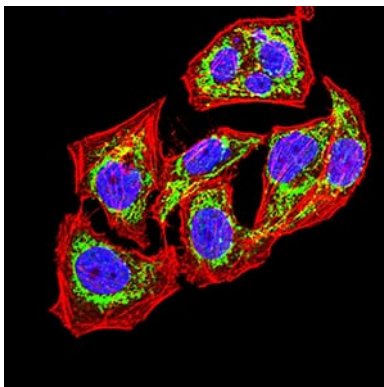
画像データ



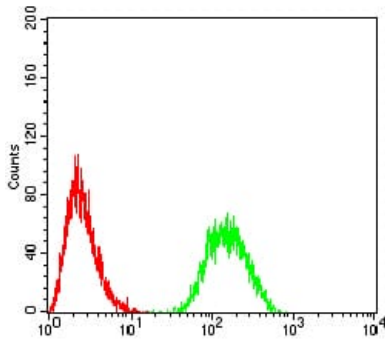
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



COS7 (1) 細胞溶解物に対する CD130 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CD130 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD130 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。